

# 東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学新聞会  
責任者 村野哲雄

五月号

## 伸び悩む合格率

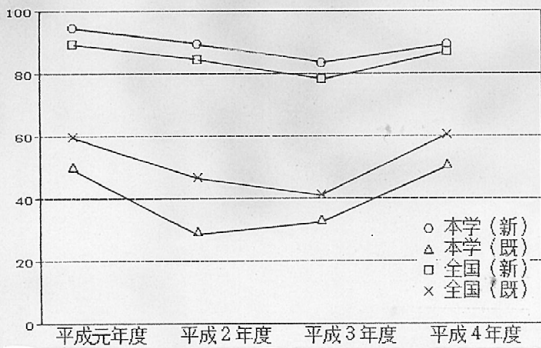
### 平成四年度薬剤師国家試験結果発表

#### 今回も九割台には及ばず 今、問われる学生の対応

先日行われた平成四年度第七十八回薬剤師国家試験の結果がこの度発表された。その主な数字は次の通りである。

本学合格率  
新卒者 八九・五四％  
既卒者 五〇・八三％  
全国平均合格率  
新卒者 八七・一六％  
既卒者 六〇・四三％

薬剤師国家試験合格率推移



今年の新卒者の合格率は昨年の八三・七三よりも六％近く上昇しているものの、全国平均合格率も昨年の七八・五四よりかなり上がっているため、例年に比べてその差は小さい。このことを考慮すれば、一概に合格率が上がったとは言えない。

そこで今回の結果に見られる問題点について糸川秀治教授に伺ったところ、次のようなことを指摘された。

第一に挙げられるのは、普段の講義に臨む際の意識的な面での必要の必要性である。今回の結果をみてみると、近年言われているようにやはり男子学生の合格率が低下しており、全体的に見たときの合格率に大きな影響を与えていると言え、講義にはほとんど出席せず、実習に参加するためだけに午後になってから大学へ来るといふ学生の

うなものではないのである。また普段の試験と違い、科目ごとに足切りがあるため、一つでも落とせば不合格となる。試験がマークシート方式であるためマークミスをする危険性もある。これらの問題に対応するため大学側では卒業試験を国家試験と全く同じ形式で行っている。つまり卒業試験は国家試験の練習なのである。

最後に糸川教授は学生への言葉として次のようなことを述べている。「薬学生にとって薬剤師国家試験に合格することはCriterion(最低限の基準)である。学生は全員一〇〇％受かる實力を持っているはずなのだから、とにかく勉強してほしい」

付け焼き刃ではない基礎からの、学力を身につけることこそ、学生に望まれていることである。

## 入試結果

今年度より本学でもセンター試験が導入され、受験生は従来の一般入試(A方式)、従来の一般入試(B方式)として推薦による試験の三つの受験方法を選択することが可能となった。このような新しい試みのもとで行われた入試であったが、入学者数が昨年と比べて六十六名も増加するといった近年まれにみる結果となったのである。

受験方法の多様化による受験者数の増加を見越して、今年度の合格者数は低く設定されていた。それにもかかわらず入学者数が増加したのは入学率の上昇のためである。入学率とは合格者のうち実際に入学した者の割合であるが、通常、数%程度しか変動しないこの割合が、今年は10%近くも跳ね上がった。

学校側では現在、この入学率上昇の原因を調査中である

	平成4年度	平成5年度
男子部式入学者数(入学率)	211(49.5)	225(58.9)
男子部式入学者数	59	22
男子部式入学者数計	270	309
女子部式入学者数(入学率)	166(52.9)	166(59.1)
女子部式入学者数	60	19
女子部式入学者数計	226	253
男女部式入学者数計	496	562

## サザエさん

テレビではトレンドイ・ドラマが大ヒットを飛ばすなか、ホームドラマも着実に多くの支持を得ている。古くから日本家庭の代表格として、我々がまず最初に思い浮かべるのはやはり「サザエさん」であろう。

昨年、東京サザエさん学会は一九八二年に創設された。東京在住の教員・編集者・学生が集まり、「サザエさん」を中心とする長谷川町子作品を読んで、資料の収集・分析をしている。磯野家は波平の転勤を理由に福岡から上京した。しかしこの福岡の家はその後磯野家からは考えられないほど裕

福なのである。そんな磯野家が東京へ出て、いきなり貧乏になってしまったのはなぜだろう。さらに不思議なことにサザエが近所の人に「今度越してきた『いそべ』です」と言っている。

これは波平の仕事上の失敗が原因で、「いそべ波平」は、名前と故郷を捨てて上京したのでないか。

随分強引な解釈だが、長谷川さんもすでに亡くなり、単行本も手に入らないので確かめようもない。人気を博し、長年連載が続いているうちに、多くの矛盾が生まれてしまった。しかしこの矛盾を矛盾もマニアにとってはまたおもしろいものなのである。

## 自治議長交代

すでにご承知の通り、第一回自治委員会において平成五年度自治委員会の議長団が以下のように決定した。

議長 2-1A 小澤 和弘  
副議長 2-1E 金子 由紀  
書記 2-1E 浦田 真軌  
1-1C 仲保 克之  
会計 2-1E 小寺 映代子 (敬称略)

東薬の学生自治の要になる自治委員会だが、その活動内容は自治会の構成会員である学生には、わかりにくいものである。学生の中で自治委員会と執行委員会の役割の違いを完全に理解している人はどれだけいるだろうか。

今年の自治委員会には、学生に判りやすい、解放された運営を目指してほしい。新しい議長団の活躍を期待する。

## 薬味

☆最近また「いじめ」の問題が世間を騒がせている。「いじめられ日記」を綴って出版した中学生の女の子。「プロレスごっこ」と称して同級生に暴行を加え、死に追いやった少年連。「いじめ」に関する話は数多く報道されている。女性誌には、テレビでコメントする人達の多くがあまり「いじめ」の実態をつかんでいないことだ。彼ら「大人」達にとってはそんなことなど遠い国の話なのだろう。ひよつとすると彼らの時代には現在のような陰鬱な「いじめ」は存在しなかったのかもしれない。いじめられている子は仕返しを恐れて誰にも相談できない。先生も親も知らないところの子どもしか普通の子が理由もなくいじめられる。いじめはどこにだってあるのだ。小学生のとき、クラスに「いじめられっ子」がいた。「くさい」とか「きたない」と言われ、みんなに嫌われていた。教室では誰とも話さずいつもひとりぼっちで席にすわっていた。いじめっ子のグループに殴られたり蹴られたりして泣いていることも多かった。何の抵抗もできず、誰にも頼れずひよくひよくと泣いていた。笑った顔なんて見たこともなかった。ある日、近所でその子を見かけた。ちいさな空き地でちいさな弟と一緒に笑っていた。笑うように笑って弟の遊び相手をしていた。こっちに気が付くと、弟をつれて逃げるように行ってしまう。その子がみんなと同じ普通の子なんだとこのとき初めて気が付いた。女大学生になる「世の「大人」と同じように「いじめ」など遠い昔の話になる。でも、みんないつか子どもの親になるのだ。(慎)

# 新歓祭で

## 友達づくり

### 君はいくつ参加した？

昨年から今年にかけて新歓祭が続々と行われている。そこで今回は主な新歓行事を特集した。なおマラソン大会については六月号に載せる予定である。

### キャン

四月一日から三日にかけて新歓実行委員会主催の新歓キャンが北野大学セミナーハウスで行われた。今年は新入生一〇二名、上級生一〇八名の計二一〇名が参加した。新歓キャンは入学前の新入生特有の不安を取り除く新歓祭の一環であり、今年も活気に満ちたキャンとなった。新歓実行委員会長の稲葉健二氏は「キャンを行うにあたり、助言くださった先輩方、ご協力いただいた上級生スタッフにこの場をお借りしてお礼申し上げます」と語っていた。

### 柚木オリ

四月十一日に行われた柚木オリについて、学術部門長中西宏明氏に伺った。「当日は素晴らしい青空に恵まれました。参加者は新入生百八名、上級生九十六名で、それぞれ十四の班に分かれて大学構内や大学の周辺に設けられた十個のチェックポイントを回りそこでゲームをして楽しんで貰いました。オリエンテーリング終了後もビンゴ大会でたいに盛り上がりました。どの

### 春展

毎年恒例である春展が談話室「ピット」にて四月十四日から二十一日までの間、開催された。

例年、参加団体は華道部、写真部、美術部、やきものクラブの四団体であるが、今回写真部は作品を出展しておらず、写真部を除いた三団体のみの参加となった。

華道部の生け花は談話室の一番奥に、美術部の絵画は壁に展示されていた。そしてやきものクラブの陶器は中央の黒いテーブルクロスに掛けられた台に展示され、全体に落ち着いた印象であった。

### 音楽祭

四月十七日(土)、生協談話室において音楽祭が開催された。参加した部はハルモニア管弦楽団、ギター部、合唱団、軽音楽部、ジャズ研であった。今年度から土曜日が休みになった関係で、残念ながら観客は極めて少なかった。今年は菓子、ジュースを用意するなどの工夫もみられ、なかなか聴き応えのあるものだった。特にジャズ研が演奏したレッド・ロブスターのCMで有名なグリーン・ミラー作曲「イン・ザ・ムード」など

### スポーツ大会

はとも楽しませる内容だった。

去る四月十八日に行われた毎年恒例のスポーツ大会について、同好会会長長國松直人氏にお話を伺った。「出席者数は新入生四十八名、上級生四十四名の計九十二名で、大講堂第一体育館でバスケットボール、京王研修センターの体育館ではバレーボールを行いました。特に大きな事故もなく皆さん和やかな雰囲気の中で動かしていただけたので良かったと思います。新入生も上級生もこのスポーツ大会を良い思い出の一つとして心に刻んでいければ、同好会部門としては光栄です。」

### 学術発表会

四月二十四日、午後一時三十分より一一講義室において第十四回学術発表会が開催された。これは学術部門に籍を置く八つの研究部による研究発表会で、新入生に学術系の部活動に関心を持ってもらうことが目的である。どの部も研究、実験内容が非常に高度であったが、OHP等の機器を使用して分かりやすく説明された。今回優勝したのは植物研究部であったが、どの部もそれぞれの特徴を十分に発揮しており、今回の発表会の目的も十分達成されたと思われる。

### 選管決定

四月二十八日に行われた自治委員会において、平成五年度執行役員選挙の選挙管理委員会が発足した。

選挙管理委員会  
委員長 守ヶ洞 順

今度の選挙で執行委員長、及び副委員長が選出される。そこで、選挙管理委員長の守ヶ洞氏にお話を伺った。「皆さん、こんにちは。私が今年度、選挙管理委員長になりました。守ヶ洞順です。よろしくお願ひいたします。ではまず選挙に関してコメントを。最近では国会でも衆議院の中選挙区制に代わる制度について議論されており、選挙において何が最も重視されるかさえおぼつかない状態です。そんな中、選挙におけるスロウガンの一つを次のように掲げました。『見える選挙と魅せる選挙』。見える選挙という点に関しては皆さんもお分かりのことだと思います。魅せる選挙という事に関しては私の言うところの『魅せる』

先頃、「矢ガモ」なるものが世を騒がせたが、覚えておいてだろうか。この矢ガモの件に関する報道だが、疑問を感じざるを得なかった。マスメディアはこの件の本質を伝えていないと思ったのである。本当であらば、使われたクロスボウの殺傷能力からみて、人間に對してもその力は十分なものであると考えられるわけだ。したがって、購入する際にきちんとした登録はされないのかといった法律面からのアプローチが報道の中心であって然るべきでは

### 矢ガモも嘆くマスメディア

傷傷能力を持てる」としてその制作会社を糾弾するキャンペーンを行っていたが、これも十分な殺傷能力を持つ道具が簡単に手に入るという点で同様の内容であろう。もしクロスボウの購入の際に何の規制も働かないのであれば、マス

メディアはこれを『野放し状態』だとして叩くべきである。包丁などは道具の目的が違ふ。クロスボウは明らかに生物の命を奪うことが目的の道具であるのだから。

矢ガモそれ自体を報道するよりも、な

### 御意見箱設置!

新聞会では毎月一回の新聞と学生大会、連絡会議の結果などを報告する号外を発行しているが、これらは約十人の新聞会員によって製作されている。しかし本学学生の総数は約二千人である。つまり我々の新聞は全学生中のわずか〇・五%の意見で作られているのだ。だからどうしても意見が偏ってしまふ。

そこで、新聞会ではかねてから約束してあったとおり、学生課前の郵便物入れの上に御意見箱を設置した。これからは皆さんの意見を積極的に取り入れたい。ぜひ皆さんの意見を聞かせてほしい。

### ハルモニオ演奏会

五月二日午後一時から、立川市市民会館大ホールにおいて、ハルモニオ管弦楽団第十回スプリングコンサートが開催された。曲目はベートーヴェン「エグモント」、序曲、他二曲(いずれも鈴木織機指揮)。この日は雨天にもかかわらず、大勢の聴衆が管弦楽

### 行事予定

五月十五日(土) マラソン大会

今回は僕が高校時代みた夢について書こうと思う。心理学に興味がある人は適当に分析して下さい。僕は神様から止められているにもかかわらず、タイム・トラベルをして戦国時代にきた。しかし僕がそこについた瞬間から歴史が変わってしまった。僕が元に戻ろうとすればするほど、ぐちゃぐちゃになった。そこで目が覚めた。あつ、今日、日本史のテストだ。なんかもう覚えた事がぐちゃぐちゃ。

### 編集後記

V久しぶりに仕事した気がするなあ。 (F市 学生) ★そう? ゴメン私やってないわあ (モロソフは美味) V新しいワープロの使い方がなかなか覚えられない(ぼ) 氷腰が痛いよー